| | | | |
|---|---|---|---|
| 科目名称： | 初級日本語Ⅳ | | |
| 担当者名： | 桜井正美，　長田明子，　田中裕子，　寺崎祐子，　鹿野みどり | | |
| 区分 | 授業形態 | | 単位数 |
| 留学生別科に関する科目 | 演習 | | 2 |
| 授業の目的・テーマ | | | |
| 初級文法を理解し、日常生活に必要な基本的な会話能力、聴解能力を身につける。また、短い読み物を読んだり、身近な事柄について書いたりする力を養う。脱初級レベルが目的である。 | | | |
| 授業の達成目標・到達目標 | | | |
| 本科進級前の予備教育として、初級文法を習得し、定着させ、運用する実力を身につけることを大前提とする。そのため「読む、書く、聞く、話す」の４技能がバランスよく身につくよう、日本の文化や習慣に関する短い読み物を読み、身近な日記風のものから文化の違いなどについての感想を書き、日常生活で役に立つ自然な会話を理解し、自分の体験や考えなどが正確に表現できるようになることを目標とする。また、母語からくる発音や発話の癖を矯正し、コミュニケーションが滑らかに行えるようになることも到達目標とする。 | | | |

| 留学生別科 | ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針） | 重点項目 |
|---|---|---|
| DP(1) | 自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し他者との信頼関係を築いていくことができる。 | ○ |
| DP(2) | 様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。 | |
| DP(3) | 専門的な知識や技能を修得し、それぞれの分野において、これらを柔軟に活用していくことができる。 | |

| 評価方法／ディプロマポリシー | 定期試験 | クイズ<br>小テスト | 提出課題<br>（レポート含む） | その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 全学DP(1) | 60 | | 15 | 25 | 100 |
| 全学DP(2) | | | | | 0 |
| 全学DP(3) | | | | | 0 |
| | | | | | 100 |

| 実務経験のある教員の担当 | 担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載） | |
|---|---|---|
| なし | 《内容１》 | 《経験年数１》 |
| | 《内容２》 | 《経験年数２》 |
| | 《内容３》 | 《経験年数３》 |
| | 《内容４》 | 《経験年数４》 |

| 備考 |
|---|
| |

| 到達目標ルーブリック | すばらしい | とてもよい | よい | 要努力 |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 文法理解 | 文法構造を理解し正しく使え、様々な場面で応用できる | 文法構造を理解し正しく使うことができる | 文法構造を理解し不正確であっても、使うことができる | 文法構造を正しく理解できない |
| 会話のやりとり | 身近な日々の事柄についての視聴覚教材の内容を理解し、それに基づいて簡単なやりとりができる | 身近な日々の事柄についての視聴覚教材の内容を理解し、それに基づいて直接的で簡単なやりとりができる | 身近な日々の事柄についての視聴覚教材の内容を概ね理解し、それに基づいて直接的で簡単なやりとりができる | 身近な日々の事柄についての視聴覚教材の内容の理解が困難でそれに基づくやりとりも難しい |
| | | | | |
| | | | | |

| 授業の内容・計画 | 事前事後学修の内容 | 事前事後学修時間（分） |
| --- | --- | --- |
| 第１回　「みんなの日本語Ｉ」復習、視聴覚教材 | 語彙・文法の予習(第1・2回) | 45分 |
| 第２回　「みんなの日本語Ｉ」復習、視聴覚教材 | 語彙・文法の予習(第1・2回) | 45分 |
| 第３回　「みんなの日本語Ｉ」復習、視聴覚教材 | 語彙・文法の復習(第1・2回)及び予習(第3・4回) | 45分 |
| 第４回　「みんなの日本語Ｉ」復習、視聴覚教材 | 語彙・文法の復習(第1・2回)及び予習(第3・4回) | 45分 |
| 第５回　「みんなの日本語Ⅱ」Ｌ２６、視聴覚教材 | 語彙・文法の復習(第3・4回)及び予習(第5・6回)、発表準備 | 45分 |
| 第６回　「みんなの日本語Ⅱ」Ｌ２６、視聴覚教材 | 語彙・文法の復習(第3・4回)及び予習(第5・6回)、発表準備 | 45分 |
| 第７回　「みんなの日本語Ⅱ」Ｌ２８、視聴覚教材 | 語彙・文法の復習(第5・6回)及び予習(第7・8回)、発表準備 | 45分 |
| 第８回　「みんなの日本語Ⅱ」Ｌ２８、視聴覚教材 | 語彙・文法の復習(第5・6回)及び予習(第7・8回)、発表準備 | 45分 |
| 第９回　「みんなの日本語Ⅱ」Ｌ３０、視聴覚教材 | 語彙・文法の復習(第7・8回)及び予習(第9・10回)、発表準備 | 45分 |
| 第10回　「みんなの日本語Ⅱ」Ｌ３０、視聴覚教材 | 語彙・文法の復習(第7・8回)及び予習(第9・10回)、発表準備 | 45分 |
| 第11回　「みんなの日本語Ⅱ」Ｌ３２、視聴覚教材 | 語彙・文法の復習(第9・10回)及び予習(第11・12回)、発表準備 | 45分 |
| 第12回　「みんなの日本語Ⅱ」Ｌ３２、視聴覚教材 | 語彙・文法の復習(第9・10回)及び予習(第11・12回)、発表準備 | 45分 |
| 第13回　「みんなの日本語Ⅱ」Ｌ３４、視聴覚教材 | 語彙・文法の復習(第11・12回)及び予習(第13・14回)、発表準備 | 45分 |
| 第14回　「みんなの日本語Ⅱ」Ｌ３４、視聴覚教材 | 語彙・文法の復習(第11・12回)及び予習(第13・14回)、発表準備 | 45分 |
| 第15回　「みんなの日本語Ⅱ」Ｌ３６、視聴覚教材 | 語彙・文法の復習(第13・14回)及び予習(第15・16回)、発表準備 | 45分 |
| 第16回　「みんなの日本語Ⅱ」Ｌ３６、視聴覚教材 | 語彙・文法の復習(第13・14回)及び予習(第15・16回)、発表準備 | 45分 |
| 第17回　「みんなの日本語Ⅱ」Ｌ３８、視聴覚教材 | 語彙・文法の復習(第15・16回)及び予習(第17・18回)、発表準備 | 45分 |
| 第18回　「みんなの日本語Ⅱ」Ｌ３８、視聴覚教材 | 語彙・文法の復習(第15・16回)及び予習(第17・18回)、発表準備 | 45分 |
| 第19回　復習(Ｌ３６～Ｌ４０を中心に）、視聴覚教材 | Ｌ３６～Ｌ４０の復習をまとめておく | 45分 |
| 第20回　復習(Ｌ３６～Ｌ４０を中心に）、視聴覚教材 | Ｌ３６～Ｌ４０の復習をまとめておく | 45分 |

| 授業の内容・計画 | 事前事後学修の内容 | 事前事後学修時間（分） |
|---|---|---|
| 第21回　「みんなの日本語Ⅱ」Ｌ４３、視聴覚教材 | 語彙・文法の予習(第21・22回)、発表準備 | 45分 |
| 第22回　「みんなの日本語Ⅱ」Ｌ４３、視聴覚教材 | 語彙・文法の予習(第21・22回)、発表準備 | 45分 |
| 第23回　「みんなの日本語Ⅱ」Ｌ４５、視聴覚教材 | 語彙・文法の復習(第21・22回)及び予習(第23・24回)、発表準備 | 45分 |
| 第24回　「みんなの日本語Ⅱ」Ｌ４５、視聴覚教材 | 語彙・文法の復習(第21・22回)及び予習(第23・24回)、発表準備 | 45分 |
| 第25回　「みんなの日本語Ⅱ」Ｌ４７、視聴覚教材 | 語彙・文法の復習(第23・24回)及び予習(第25・26回)、発表準備 | 45分 |
| 第26回　「みんなの日本語Ⅱ」Ｌ４７、視聴覚教材 | 語彙・文法の復習(第23・24回)及び予習(第25・26回)、発表準備 | 45分 |
| 第27回　「みんなの日本語Ⅱ」Ｌ４９、視聴覚教材 | 語彙・文法の復習(第25・26回)及び予習(第27・28回)、発表準備 | 45分 |
| 第28回　「みんなの日本語Ⅱ」Ｌ４９、視聴覚教材 | 語彙・文法の復習(第25・26回)及び予習(第27・28回)、発表準備 | 45分 |
| 第29回　総復習、プレゼンテーション | 語彙・文法の復習 | 45分 |
| 第30回　総復習、プレゼンテーション | 語彙・文法の復習 | 45分 |

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。
また、事前事後学修としては、語彙・文法の復習及び予習、発表の準備をすることになる。

成績評価の方法・基準

定期試験は、 60%で評価する。 その他の評価配分は、以下のとおりである。

宿題　15%、授業への積極的関与・授業内での発表等　25%の総合評価

課題に対してのフィードバック

授業内での発表について、良い点、改善点等をフィードバックする。

教科書・参考書

教科書:『みんなの日本語初級Ⅰ』『みんなの日本語初級Ⅱ』　教科書の該当ページを開きながら解説・運用練習を行う
参考書:『みんなの日本語初級Ⅰ　翻訳・文法解説書　各国語版』『同Ⅱ』　以上スリーエーネットワーク発行

備考